

2024年度事業報告

年月日	内容
4月6日	「夢見る小学校」映画鑑賞
4月9日	体験活動クッキング（4月～3月 全13回）
4月18日	スポーツの日（4月～3月 全10回）
4月20日	2023年度監査
4月23日	体験活動農業（4月～3月 全13回）
4月29日	第4回理事会
5月4日	てとて広場開放デイ（5/4,5）
5月7日	工作・ものづくり活動（5月～3月 全12回）
5月7日	ハートフルボックス配布（5月～2月 全10回）
5月11日	STUDIO MOMENさん綿畑作業に参加（5月～3月 全6回）
5月26日	子ども本棚PRイベント
6月2日	総会
6月4日	体験活動まち探検（駄菓子屋、加美区鳥羽11/12、Tamaki niime2/18）
7月～8月	夏休み学習サポート
8月20日	夏祭り
9月20日	兵庫教育大学こどもフェスタ 参加
9月22日	本棚オーナーワークショップ
10月5日	ベビー・キッズマッサージ（10月、1月 全2回）
10月27日	みらフェス 出店
11月9日	体験活動ビーチクリーン（明石林崎松江海岸）
11月23日	いきいきふれ愛まつり出店
12月21日	クリスマスパーティ
1月8日	子どもの居場所研修会（全4回）
1月25日	西脇市PTA連合会との共同開催「子どもとゲーム」講演会
1月27日	（公財）大和証券助成金贈呈式
1月29日	評議委員会
2月25日	ひょうごボランティアプラザ助成事業報告会参加
3月5日	西脇市議会文教民生常任委員会 視察
3月11日	防災学習
3月25日	卒業祝いの会

(1) 子どもの居場所事業

(一財) チャイルドライフサポートとくしま 子どもの笑顔はぐくみプログラム助成事業
ひょうごボランタリープラザ令和6年度地域づくり活動NPO事業助成

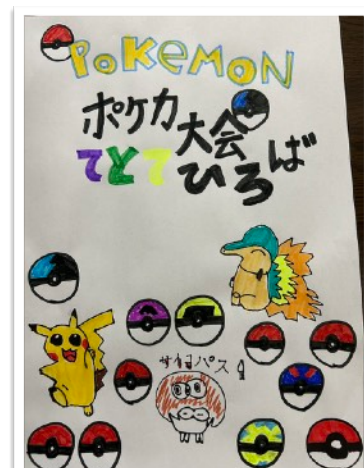
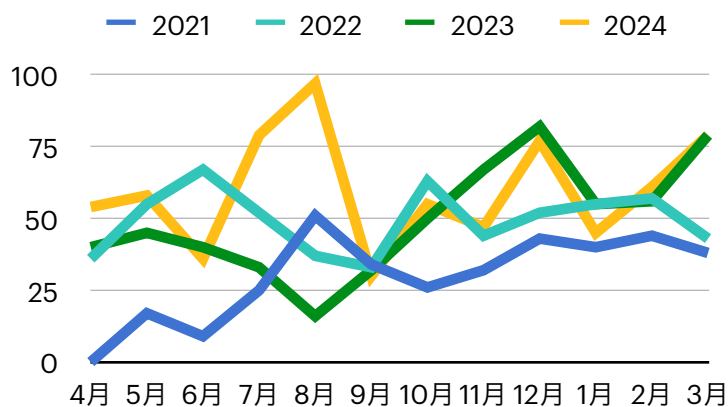
開設日：毎週火曜日・土曜日 10時～15時

対 象：0～18歳の児童とその保護者、家族等

内 容：体験活動を中心に、室内や戸外で一緒に遊ぶ。

＜利用者数＞ 子ども：のべ718名

＜開催回数＞ 121回



＜担当者より＞

学校のサポートルームで過ごす小学生が火曜日の居場所に来るようになりました。毎回、体験活動を取り入れながら、うつむいた子どもたちがどんどん元気になる様子を見て、また保護者の方からも喜ばれ、居場所のやりがいを感じました。スクールソーシャルワーカーさんやスクールカウンセラーさんも訪れてくださって、今後、連携したサポートができればと思いました。土曜日の子どもの居場所は、子どもたちが年頭に書いたやりたいことリストの中から、順番に達成を試みました。小1から高3まで、インクルーシブな活動が展開できました。

体験活動

ひょうごボランタリープラザ令和6年度地域づくり活動NPO事業助成
令和6年度下期「ひょうご子ども・若者応援団」一般助成事業

活動日：火曜日・土曜日の子どもの居場所の中

対 象：0～18歳までの子どもとその家族

内 容：農業、調理、工作、アート、社会学習など様々な体験

農業：西脇市内の畑で農作業及びプランター野菜、花植え、
果実の収穫・出荷作業、STUDIO MOMENさんの綿畑作業
＜開催回数＞20回

＜参加者数＞のべ91人

指導：藤原晃さん、STUDIO MOMENさん

◎ 駐車場で畑を作りました。草取り、石拾い、土入れをして、次の作業は次年度へ

◎ ゆず、キーウィの収穫と出荷作業は、協働の作業が収入につながる話もしました。



調理：メニューを決めて、お買い物。みらいえ調理室で調理実習と食事。てとて広場で昼食・おやつ作り

＜開催回数＞22回

＜参加者数＞のべ131人

メニュー：肉まん、担々麺、ピザ、柏餅、七草粥など

今年度から指導者はなく、スタッフと子どもたちで、失敗してリベンジもしながら、調理を楽しみました。



スポーツ：体育館、山登り、ハイキング

＜開催回数＞13回

＜参加者数＞のべ69名

野球やサッカーなど本格的にはできなかったのですが、体育館での遊びは定着し、バラバラに動いていた当初に比べ、みんなで遊べるようになりました。



ものづくり：工作、西脇高校古民家アトリエに参加、パステルアート

＜開催回数＞12回

＜参加者数＞のべ72名

指導・協力：伊藤真理さん、足立あゆみさんほか

夏休みに地球科学館からの出前講座で、科学工作をしました。たくさんの参加で楽しくできました。工作に苦手意識のある子が多いように感じますが、指導の方が上手に教えてくださり、自分らしい作品ができていたと思います。



その他イベント

★みらフェス出店 10月27日（日）

飲食物の簡単調理と販売

◎ 高校生と大人ボランティアは裏方で、小学生は店番で協力して楽しく参加できました。



★夏祭り 8月20日（火）

流しそうめんと手作りゲーム、メダカすくい、かきごおり、20名の定員いっぱい、夏休みの1日を楽しみました。



★クリスマスパーティ 12月21日（火）

西脇マジッククラブさんにご協力いただいたマジックショー、プレゼント交換、ケーキデコ、ツリー作りなど恒例になったクリスマスの催し、お手伝いいただいたボランティアさんには感謝です。

★卒業祝いの会 3月25日（火）

小中高を卒業して、子どもの居場所から巣立つ6名の子どもたちを送り出す会を開催しました。巣立つ子どもたちの未来に幸多きことお祈ります。いつまでも応援しています。



トワイライトスペース

令和6年度 共同募金配分金事業

開設日：毎週火・土曜日 18時～20時、毎週水曜日 18時半～20時半

対 象：生きづらさを抱えた子ども等

内 容：夕刻、ひとりで家で過ごしている、ひとりで宿題が進まない、家に居づらい、などの子どもが宿題をしたり、軽食を食べたり、自由にのんびり過ごす。

＜利用者数＞ のべ81名

＜開催回数＞ 116回

＜担当者より＞

トワイライトスペースを始めて、試行から3年経ちました。昨年度、回数を増やし、今年度週3回で取り組みました。後半、人数が増えましたが、学校や家でのストレスを抱えて、ひとりでぼーっとTVを見ていたり、おにぎりを食べたり。なんと声をかけてよいのかとまどいながら、ただただ同じ空間で時間を過ごしました。子どもの本音が見える時間でもありました。

子育て応援事業

開催日：10月5日、2月1日

対 象：子育て中の親子・家族

内 容：ベビーマッサージ（乳児対象）、キッズマッサージ（1～3歳対象）

＜利用者数＞ 5組の親子

1回目は3組のうち、2組が4人きょうだい。てとて広場が始まって以来の幼児がいっぱいの日でした。幼児ちゃんたちは、みんなこども園のように、次から次へとよく遊んでいました。今後も何かの形でつながればいいなと思います。



(2) 学習支援事業

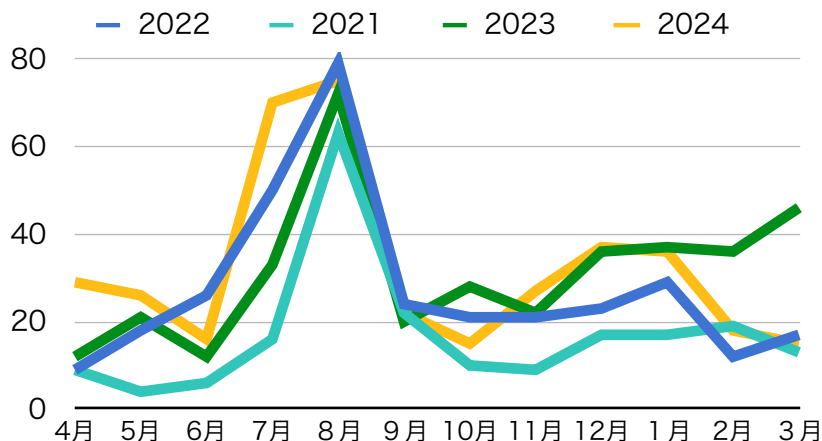
(公財) 公益推進協会 2024年 浅井スクスク基金助成

開設日：毎週金曜日 17時半～21時、火曜日・土曜日随時

夏休み中 火・木曜日 10時～12時

対 象：小学生・中学生・高校生

内 容：宿題などの学習。個別対応の学習サポート。



<利用者数> のべ 386名 <開催日数> 57回

<担当者より>

夕方、宿題や自主学習の用意をして子ども達が集まって来ます。スタッフは学習が進むよう見守ります。集中して学習し、休憩時はお喋りやカードゲーム等も楽しめます。用意してきた学習が終わった子は、スタッフからそれぞれの学習進度に応じたプリントをもらって取り組みます。スタッフは苦手なことにも根気強く取組めるよう声かけをしながら、子ども達が達成感をもって過ごせるように心がけています。最後はみんなで間違い探しプリントをして楽しく終わります。

(3) 生活支援事業

西脇市生活困窮者自立支援機能強化事業補助金

開催時期：4月～3月

対 象：ひとり親家庭または経済的に困窮している子育て世帯

内 容：ハートフルボックス（食料品や日用品を詰めた箱）を定期的に希望者を募り配布。経済的支援の相談と手続きのサポート

<ハートフルボックス配布数> 129箱 <支援家庭数> 37家庭

<相談支援> 給付金、貸付、年金、転居、合計15回 <実人数> 4人



(4) その他

★子どもの権利学習会（西脇市PTA連合会共同開催）

令和6年度北播磨地域づくり活動応援事業

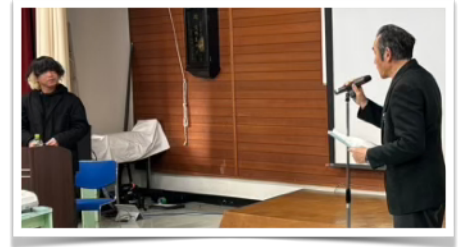
日時：1月25日（土）14時半～16時

場所：大野隣保館

参加者数：80人

講師：関正樹先生（児童精神科医）

講演タイトル：「子どもたちはネットやゲームの世界で何をしているんだろう？」



◎ 当日朝に、学校に行きづらい子どもさんのお母さんから問い合わせがあり、深刻な様子。また、帰られる先生に駆け寄って質問された方もおられました。PTA役員だから出席した方にとっては、思い当たらない内容であったかもしれませんが、当事者と向き合う家族に聞いてほしいお話しでした。

★こども本棚一箱オーナー制度

てとて文庫があまり活用されていないことが気になり、少しでも、交流のきっかけにつながり、それが資金にもなればと、本棚を改修して始め他プロジェクト。本棚披露のイベントには48名の方が訪れてくださったほか、スタッフ関係者が集まったことで新たにつながりができた人たちもいました。



学校に行きづらかった中学生が高校生となり、コミュニケーションの苦手さを払拭し、手伝いにきてくれたことに、感激でした。

★子どもの居場所研修会

4回の研修会を開催し、スタッフと、子ども支援の関わる希望者の皆さんと共に学ぶことができた。

参加者：スタッフ・サポーター11名、その他の参加5名

第1回：1月8日 発達凸凹のある子ども支援 講師：市位葉子氏

第2回：1月15日 防災・減災を考える 講師：中村伸一郎氏

第3回：1月25日 子どもとゲーム（子どもの権利学習会兼ねる）

第4回：2月19日 保護者支援と地域連携 講師：NPO法人スマイルポケット 中村代表理事



◎評議委員会報告

今年度の総会時に、理事からてとて広場の活動について、地域から一定の評価を得るために、評議委員会を開催してはどうかというアドバイスがあって、今回の開催となりました。

＜開催日＞1月29日（水）18時～

＜評議委員＞10名に依頼6名出席

＜意見交換抜粋＞

- ・ 一人暮らしの高齢者の食事会を市内8ブロックで開催。子どもとの交流もしている。てとても検討してみてはどうか。
- ・ 利用者はどのくらい？
 - 子どもの居場所は6～8人、土曜日は10人くらいの時もある。賛助会員は57名、うち利用者は、35名以上いる。
- ・ 学校とのつながりはどうか？ はればれとの関わりは？
 - 相談を聞く中で学校とも関わる、はればれからの紹介もある。SSWと連携して支援を継続しているケースもある。
- ・ 10歳の壁で、分数や少数につまづく。タブレットの指導が多く、いわゆる読み書き算盤がおそろさかを感じる。
 - てとての学習サポートは、わからない問題が出さない。わからないと言ったら、問題を変えている。てとてのおかげかはわからないが、子どもたちの成長は見える。
- ・ てとては、開設当初から理念が変わらないところがよい。就労Bの事業所をしていた時、最初は引きこもりのためにと思っていたのに、働くことが中心になり、働けない人は来れなくなった。
- ・ てとての利用者はどのようにして繋がっているのか。不登校や課題のある子どもとはなかなかつながりにくいのではないか。
 - 市役所や教育委員会からの紹介もあるが、それでもなかなか本人は来ない。入口まで来て入ってこれない子もいる。小学生は元気だが、中学生は難しい。
- ・ 家で学習会をしているが、てとての学習と一緒にやってもいいと思っている。
 - 居場所はたくさんあった方がいいので、それはそれでされた方がいいと思う。
- ・ 一昨年、野村地区の人権研修会で話された。他でももっと周知されれば良いのでは。
- ・ 不登校の中学生が通信制の高校に行くが、その後挫折した時のサポートが必要